



ほけんだより



H26年7月 あおぞら保育園



夏に流行る感染症



じめじめとした梅雨が明けると急に暑い日が続くようになります。いよいよ“夏到来！”です。

夏は、プールや水遊びも楽しい季節ですね。暑さの中でも夢中になって遊びます。子どもたちは汗をかくだけで体力を消耗します。出かけた後のお疲れ休みもとってあげるなど、大人の気遣いが必要です。

元気に夏をのりきりましょう！！

6月の感染症

- 帯状疱疹・・・1名
- 感染性胃腸炎（ロタ含む）・・・4名
- 肺炎・・・1名
- 突発性発疹・・・1名
- 流行性耳下腺炎疑い・・・1名

気温差が激しかった6月は、体温調節が上手できない乳児クラス中心に体調を崩すお子さんが多い月となりました。高熱～解熱を繰り返す風邪も流行っています。早めに受診しましょう。

6/3 歯科検診の結果報告

年齢	受診数	むし歯のない児	むし歯あり		清掃状況 B・Cの児
			未治療	治療済	
0歳	6人	6人			0人
1歳	12人	11人	1人	2本	4人
2歳	18人	17人	1人	4本	5人
3歳	17人	14人	3人	11本 15本	0人
4歳	21人	14人	7人	40本 15本	2人
5歳	16人	14人	2人	3本 17本	2人



園医の井上先生より・・・

『全体的に磨き残しが多いですね。おうちの方がしっかり仕上げ磨きをして下さい。』とお話がありました。

上記の表の結果より、3歳過ぎからむし歯の本数が増えてきています。今回の検診で要治療のお子さんは早めに受診しましょう。

ペットボトル症候群ってなに？

清涼飲料水やスポーツドリンクには、大量の糖分が含まれているので、水がわりに飲んでいると「ペットボトル症候群」になる可能性があります。「ペットボトル症候群」とは、急性の糖尿病のようなもの。

とりすぎには、くれぐれも注意しましょう。



熱中症とは

高温多湿な環境下で、体内の水分や塩分のバランスがくずれたときなど、体温調節がうまくできなくなってしまったときに起こります。

《正しく体の機能が働いているとき》



こんな症状が起こります！！

- 軽：ふらつとする「めまい」、くらつとする「立ちくらみ」、筋肉痛
- 中：ズキンズキンする「頭痛」、「吐き気」、体力がはげらない
- 重：手足がガクガクしている「けいれん」、呼びかけても返事がない

《熱中症のとき》



※出席の可否はお医者さんに相談してください。

※出席の可否はお医者さんに相談してください。

※出席の可否はお医者さんに相談してください。

手足口病

- 症状
 - 口や手足に水ぶくれ状の発疹。
- 予防
 - 手洗いをする。
 - ほかの人とタオルを共有しない。
 - 回復後2～4週間は、まだウイルスが残っているので、便などの処理には注意する。
- 対処法
 - 自然に治るが、高熱や吐き気、強い頭痛が見られるときは、医療機関に相談する。

出席停止



咽頭結膜熱（プール熱）

- 症状
 - 38～39度ほどの発熱。
 - のどの痛み。
 - 結膜炎。
- 予防
 - 手洗いをする。
 - ほかの人とタオルは共有しない。
- 対処法
 - 自然に治るが、症状が強いときは、医療機関に相談する。

出席停止



伝染性紅斑（リンゴ病）

- 症状
 - 軽いかぜ症状。
 - ほほ、腕、足にあかい発疹。
- 予防
 - あかい発疹が出てきたころには、感染力はなくなっているため、とくに感染を予防する必要はない。
- 対処法
 - 自然に治るが、妊婦が感染すると胎児に影響を与える場合があるので注意する。

出席停止



流行性角結膜炎（はやり目）

- 症状
 - 結膜が充血する。
 - 目がかゆくなる。
 - 目がゴロゴロする。
 - 涙が多くなる。
- 予防
 - ほかの人とタオルを共有しない。
- 対処法
 - 医療機関では症状を軽くする方法がとられる。

出席停止



アタマジラミ

- 症状
 - 激しい頭のかゆみ。
- 予防
 - タオルやくし、帽子など、頭にふれる物をほかの人と共有しない。
- 対処法
 - シラミ駆除用のパウダー剤やシャンプーを使用する。
 - クシなどを使って駆除する。

出席停止



ヘルパンギーナ

- 症状
 - 38～40度の発熱。
 - のどの痛み。
 - 食欲不振や全身のだるさ、頭痛。
- 予防
 - 手洗いをしっかりする。
 - 洗濯物は日光で乾かす。
- 対処法
 - 特別な治療法はない。医療機関では症状を軽くする方法がとられる。

出席停止



感染症にかかっているときのプールへの対応

日本臨床皮膚科医会と日本小児皮膚科学会に基づき下記対応とさせていただきます。

◆とびひ・・・かきむしった所の浸出液などで次々にうつります。プールの水ではうつらないが触れることで症状悪化、ほかの人にうつります。治るまでプールには入れません。

◆水いぼ・・・プールの水ではうつりませんので入れます。ただし、かきむしって浸出液が出ている場合は、入れません。

どちらも浸出液が出ているときの登園は、ガーゼや絆創膏で患部を覆って下さい。

0歳児検診のお知らせ

7月22日(火) 14:30～

当日、都合休みの方は、検診時間に間に合うようお越し下さい。